

ここが聞きたい！

一般質問

一般質問とは？

市の様々な課題等について、議員が市長や理事者に考えを聞くものです。議員は政策提言も含めて質問することができ、内容は自由です。



新型コロナウイルス感染予防のため、時間を30分に制限して実施しました。

p.9	えばた かすたか 江端 一高 議員	育てやすい暮らしやすいまちの全体像について ほか	p.11	はやし たいき 林 太樹 議員	「第2期鯖江市まち・ひと・しごと創生総合戦略」について
	だいちん よしかず 大門 嘉和 議員	窓口業務について	p.12	そら よしひで 空 美英 議員	野良猫の不妊手術補助金について
p.10	えんどう たかし 遠藤 隆 議員	シティプロモーションにおける地域ブランドの拡充について		にお ひろき 丹尾 廣樹 議員	消費者トラブルの状況について
	おくむら よしのり 奥村 義則 議員	若者の消費トラブル対策について	p.13	すがはら よしのみ 菅原 義信 議員	コロナ禍で困っている人への支援策を ほか
	きむら あいこ 木村 愛子 議員	アフターコロナのまちづくり		やまもと としお 山本 敏雄 議員	町内会の役割と交付金について
p.11	ふくはら としひろ 福原 敏弘 議員	令和4年度予算編成について		かえりやま あきお 帰山 明朗 議員	「地区版市民活動計画」について
	はやしした とよひこ 林下 豊彦 議員	公共施設等総合管理計画について ほか		すいづ たつお 水津 達夫 議員	福井鉄道福武線について



志清同友会
えばた かすたか
江端 一高 議員

育てやすい暮らしやすいまちの全体像について

問 市長が考えるまちの全体像は。

答 市長 みんなが子育てを支え合うことで社会全体が優しさに包まれ、あらゆる立場の全ての人にとって優しく暮らしやすいまちを目指す。令和4年度当初予算では、重点的に取り組むテーマの一つとして明確に位置づけ、財源を重点的に配分した。若い世代の流入を促し、人口減少の波に少しでも歯止めをかけ、鯖江市に住み続けたい、住んでみたいと思われるまちを目指す。

子どもが屋内で遊べる機能を持つ施設について

問 積極的に整備していくのか。

答 以前より幅広い世代の市民から数多くの意見をいただいている。屋内で遊べる場を提供することは必要であると考えており、様々な観点から多角的な検討を深めていきたい。

そのほかの質問

- 地域おこし協力隊の位置づけ
- 学生連携の実情についてなど



天気を気にせず遊べるね



市民創世会
だいちん よしかず
大門 嘉和 議員

窓口業務について

問 マイナンバーカードの現状について。

答 市では、人口に対する申請率は、今年1月末現在で42.94%、交付率は37.15%となり、県内において低い申請交付率となっている。

国は、令和5年3月末までにほぼ全国民に交付するよう、マイナンバーカードの交付円滑化計画を改訂している。市も今年の3月末までに51.1%、来年の3月末までに100%の交付を目標としている。

問 利便性向上に向けての取組は。

答 昨年10月よりマイナンバーカードを健康保険証として利用できるようになった。しかし、専用カードリーダーの設置されている医療機関がまだ少ないという現状があり、環境が追いついていない。

図書貸出しカードとしての機能は、令和元年12月の図書館の情報システムの導入の際にICカード読み取りの機能を搭載して、希望者には手続を行っている。現在利用者は54名となっている。

そのほかの質問

- 窓口におけるコンシェルジュの配置について



鯖江市役所の窓口